

研究成果報告書

(国立情報学研究所の民間助成研究成果概要データベース・登録原稿)

研究テーマ (和文) AB		環境効率性指標による北九州エコタウン事業の評価			
研究テーマ (欧文) AZ		Eco-Efficiency and Material Flow Analyses of the Kitakyushu Eco-town Project			
研究氏 代 表 者	カカナ CC	姓) イムラ	名) ヒデフミ	研究期間 B	2003 ~ 2005 年
	漢字 CB	井村	秀文	報告年度 YR	2005 年
	ローマ字 CZ	IMURA	HIDEFUMI	研究機関名	名古屋大学
研究代表者 CD 所属機関・職名		名古屋大学大学院環境学研究科・教授			
概要 EA (600 字~800 字程度にまとめてください。)					
<p>循環型社会形成に関する実質的な取り組みは、自治体レベルにおいて行われている。その際、自治体が推進している分別・資源回収、資源化等の取組みが経済全体や地域の資源循環に及ぼす影響について、その効果を定量的に明らかにする必要がある。本研究では、自治体における循環型社会形成推進に関する施策の分析により、具体的な政策立案を支援するための分析ツールとして、県や市町村を対象としたマテリアルフロー・ストックバランス表の理論的枠組み及び分析枠組みを構築した。また、これを具体的な自治体(愛知県、名古屋市、北九州エコタウン事業)に適用し、その有効性を検証した。</p> <p>先ず、マテリアルフロー・ストックバランス表の表体系を決定するため、産業連関表など経済分析などで用いられる各種会計表をサーベイし、これに基づいて地域資源循環構造を表現するのに適切なマテリアルフロー・ストックバランス表の表体系を作成した。また、本会計表を用いた分析枠組みとして、循環型社会の形成度合いを表現する環境効率性指標とともに、循環型社会形成に関する施策効果の分析手法を提案した。</p> <p>次に、上で開発した方法を愛知県、名古屋市にも適用してみることで、マテリアルフロー・ストックバランス表の有効性を確認した。愛知県については、愛知県の廃棄物処理計画が循環型社会形成度合いに及ぼす効果を分析した。また、名古屋市については、名古屋市が1999年に発令した「ごみ非常事態宣言」以後に実施されたごみ処理政策が、資源循環的観点からみてどのような効果があったのかを分析した。</p> <p>最後に、上記の事例を踏まえ、本表を北九州エコタウン事業に適用した。ここでは事業内のリサイクル産業へのアンケート調査を通じて、本事業の実施が北九州市内及び周辺地域における資源循環構造に及ぼした効果や影響を、技術ポテンシャル及び環境効率性の視点から分析した。</p>					
キーワード FA	循環型社会	物質フロー分析	マテリアルフロー・ストックバ ランス表	北九州エコタウン事業	

(以下は記入しないでください。)

助成財団コード TA				研究課題番号 AA							
研究機関番号 AC				シート番号							

発表文献（この研究を発表した雑誌・図書について記入してください。）									
雑誌	論文標題 <sup>GB</sup>	マテリアルバランス表による資源循環構造の予測分析							
	著者名 <sup>GA</sup>	田畑智博, 井村秀文	雑誌名 <sup>GC</sup>	環境科学会 2005 年会講演集					
	ページ <sup>GF</sup>	44~45	発行年 <sup>GE</sup>	2	0	0	5	巻号 <sup>GD</sup>	
雑誌	論文標題 <sup>GB</sup>	Development of the Material Balance Table to Support the Establishment of Recycling-based Society in Region							
	著者名 <sup>GA</sup>	T. TABATA and H. IMURA	雑誌名 <sup>GC</sup>	Proceedings of ENVIR004 Convention & Exhibition					
	ページ <sup>GF</sup>	~	発行年 <sup>GE</sup>	2	0	0	4	巻号 <sup>GD</sup>	
雑誌	論文標題 <sup>GB</sup>	資源循環の観点からみた「ごみ非常事態宣言」後の名古屋市のごみ処理政策の評価							
	著者名 <sup>GA</sup>	田畑智博, 奥田隆明, 井村秀文, 中山絵理	雑誌名 <sup>GC</sup>	環境科学会 2004 年会講演集					
	ページ <sup>GF</sup>	92~93	発行年 <sup>GE</sup>	2	0	0	3	巻号 <sup>GD</sup>	
図書	著者名 <sup>HA</sup>								
	書名 <sup>HC</sup>								
	出版者 <sup>HB</sup>		発行年 <sup>HD</sup>					総ページ <sup>HE</sup>	
図書	著者名 <sup>HA</sup>								
	書名 <sup>HC</sup>								
	出版者 <sup>HB</sup>		発行年 <sup>HD</sup>					総ページ <sup>HE</sup>	

欧文概要 EZ

A practical action is held in local government level for a formulation of Sound material-cycle society. In this regard, it needs a framework to clear up the effect of actions such as waste separation, resource collection and recycling by the local governments from the view of local economy and local resource circulation. In this study, the framework of material flow and stock balances table was developed as an analytical tool that is possible to analyze the effect of the action plan for the formulation of the Sound material-cycle society in local government and to support a design of more effective plan. And this table was applied to Aichi prefecture, Nagoya city and Kitakyushu Eco-town project as a case study.